

令和7年度第1回健康計画推進委員会会議録

日時	令和7年8月28日(木) 13 時 30 分～15 時
場所	北栄町役場 第1委員会室
出席者	<委員>(敬称略) 仲、荒川、永田、岡本、新名、多田、穴戸、田中、三ツ國、平信、遠藤、竹原、荒木、加藤 (欠席2名) <事務局>前田課長、塚本、前田日
レジメに沿って進行。 1. 開会 2. あいさつ 健康推進課 前田課長 3. 自己紹介 4. 委員長の選任(P1～2) 立候補なく、事務局より推薦。 委 員 長： 荒川辰也氏(北栄スポーツクラブ事務局長) 副委員長： 竹原光余氏(食生活改善推進員連絡協議会) 5. 協議および報告 (1)特定健診及び各種がん検診の受診率の推移(P3～4) ・大腸がん検診の受診率が低下。他の検診の受診率の向上につなげる事や、医療機関検診による利便性の向上のため、受診方法を変更したことによる。 ・長寿健診の受診率が向上。保健事業と介護予防の一体的実施による受診勧奨の強化による。 ・集団健診の利用者が前年度より約200人増加。大腸がん検診の追加やフルセット健診による。 (2)健康計画6つの項目に対する行政の取り組み(P5～6) ①運動習慣の定着 ・北栄スポーツクラブと連携し、運動教室を開催。参加しやすいよう休日や夜間の日程でも開催した。教室終了後、11回分の回数券を配布し、使用状況を確認し、未使用の場合は利用勧奨。 ・体組成測定は高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施で設定。健診会場や健康運動教室、社協の健康体操教室で実施。 ②健全な食生活の定着 ・小学6年生の「弁当の日」は令和6年度の6年生で終了。 ・R6年度から新規事業「健診結果活用教室」を実施。 ・ポイントラリー事業の自主的な取り組みに「食事チャレンジ」を追加。 ・R6年度は食生活改善推進員養成講座を実施。次回は R8年度。 ③心の健康づくり ・ゲートキーパー研修は、R6年度は食生活改善推進員養成講座で実施。R7 年度は健康講座で実施予定。 ④歯と口の健康づくり ・3歳以上児へのフッ素塗布と歯磨き指導、4. 5歳児や小学生の希望者にフッ化物洗口を実施。	

・妊婦、ふしめ歯科検診を継続して実施。セット健診時には歯科衛生士の個別歯科相談を行い、お口の健康に関心を高める機会としている。

・R6年度、ポイントラリー事業の自主的活動として「オーラルケア」も追加。

⑤喫煙・飲酒対策

・母子健康手帳交付時、乳幼児健診等、機会を捉えて禁煙、受動喫煙防止について啓発。

・小学6年生を対象に、医師による生活習慣病予防講演会で喫煙の害やアルコール依存症について学習。R7年度は、保護者参観日に講演会を実施する。

⑥生活習慣病の早期発見・早期治療

・WEB 予約を導入し24時間予約受付が可能となった。

・大腸がん検診は、他の健(検)診も同時に受診してもらえるように他の検診と同じ取り扱いとした。R7年度から、集団健診を予約された方へ、事前に検体容器を郵送し健診当日に提出していただく流れとし、来場回数を1回とした。

・精密検査の受診勧奨を、保健師が訪問等で実施し、精密検査の受診率が向上した。

午後の開催、健診前に受付時間の通知の送付など、健診を受けやすい環境整備に引き続き努めた。

・「保健事業と介護予防の一体的実施事業」として、R6年度は個別支援として、生活習慣病重症化予防や重複頻回・多剤投与、健康不明者等の訪問を実施。重複頻回・多剤投与については、転倒との関係もみられず、R7年度は、口腔を追加し歯科衛生士派遣事業を実施。ポピュレーションアプローチでは、いきいきサロンに加え、社協の健康体操教室、北栄スポーツクラブの健康運動教室など、延31回実施。R7年度は薬を追加する。

・健康講座は R6年度、35自治会で実施。R7年度「薬との上手な付き合い方」を追加。

<意見等>

○大腸がん検診では周知不足との事だったが、受診率の低下は方法の変更によるものだと思う。以前の自治会で実施する方法に戻せないか？

→方法の変更の理由として、自治会から推進員さんの負担に関する声があった事も一つだが、システムの標準化に伴いこれまで受診票などを作成してもらっていた業者に帳票の作成が依頼できなくなり、同じ帳票をだす事ができなくなった。また他の検診とあわせて行う事で、他の検診の受診率の向上も期待した。一度中止した健康推進員の作業を再開する事は困難であり、今後も、現在の方法を継続する予定。受診率向上に向けた取り組みは必要であり、助言はいただきたい。

○昨年度、集団健診を受診し、すごく丁寧な対応で住民の方も安心されると感じた。大腸がん検診は、自治会で実施していた頃、問診票の確認やバーコードの貼り付けが大変だった。今回、大腸がん検診の検体を事前に送付されているが、住民の方の負担はどのようになるか？

→送付前に役場職員により、バーコードの貼り付けや検体に名前を記入して送付している。住民さんは、検便を行うだけでよい。

○血管年齢を導入してほしい。見えない部分であるが、自分の健康状態を把握するためにイベント会場などで受けるようにしている。希望者が受けれるようにしてほしい。

→検討する。

(3)各組織、団体の今後の取り組み

①北栄スポーツクラブ

- ・高齢者対象の健康運動教室を週3回実施。健康推進課と連携して運動教室を実施。
- ・9/21 ソフトボール大会、10/4 グランドゴルフ大会、11/9 駅伝大会を予定。駅伝は、20 周年記念として、全町を横断して走る。

②大栄中学校

- ・すこやかな体づくりとして、体力向上、食育、生活リズム作りに取り組んでいる。
- ・体力テストで、筋力や敏捷性が低下しており、体育の授業に取り入れている。
- ・食育として、残菜を減らす事に取り組み、ほとんどなくなっている。
- ・生活リズムでは、メディアコントロールが問題。自分の携帯を持っている生徒が半数おり、深夜の利用や利用時間の制限が難しくなっている。
- ・コロナで歯みがきを中止した影響で、昼食後の歯みがきを行う生徒が約 190 人中 10 人以下。歯みがきの習慣を取り戻したい。

③北条小PTA

- ・メディアコントロールの取り組みとして、親子のふれあいの時間を大切のにする事を呼びかけた。取り組み率は低く、今後も PTA から呼びかけていく必要がある。

④由良こども園

- ・運動あそびで体づくりに取り組んでいる。プールは熱中症対策として 31 度以上の日は中止したり、途中に休憩をとりながら実施。
- ・4.5 歳はフツ化物洗口を、朝の会後に実施。
- ・メディアは、ユーチューブなどを視聴しており、23 時過ぎに就寝するお子さんもある。絵本の時間が増えるよう、講演会を開催。親子で絵本に親しめるよう、玄関に大谷こども園から寄付された絵本をおき、大谷文庫としてコーナーを作っている。

⑤由良こども園保護者

- ・家庭で、早く就寝するようにし、朝がすっきり起きれるよう心掛けている。
- ・休日は、暑さのため外で遊ぶような声もかけられず、メディアが多くなる。子ども達が休日に安心して遊べる施設が増えるとありがたい。
- ・子ども達が生き物に触れる機会が減っている。こども園の先生方のおかげで、生き物に触れたり、世話をする経験ができています。

⑥自治会長会

- ・いきいきサロンの開催やこけない体操の取り組みを強化している。いきいき健康講座も年 1 回開催。
- ・由良宿 7 区では運動会を開催し、地区の 1/2 世帯、65 名の参加があった。
- ・由良宿7区では、自治会後援事業として、楽笑会(らくしょうかい)を立ち上げ、制作活動、体操、悩み共有などを開催している。
- ・リーダーシップをとってくれる人がいないと、自治会行事をすすめる事は難しいと感じている。

⑦老人クラブ

- ・運動会、グランドゴルフ、ペタンクなどの活動を実施。
- ・県事業として、ウォーキングイベントがあり、今年度は花回廊が会場となっている。

・新たな取り組みとしては、健康マージャンをとおり、脳トレや交流を行っている。

⑧健康推進員

- ・受診券が発送されるタイミングに合わせ、自治会放送やポスターの掲示を行った。
- ・健康講座については、7月に開催。20～30人の参加があり、聞いてよかったとの感想があった。

⑨JA鳥取中央大栄支所

- ・職員向けに、年に1回健康診断を行っている。
- ・時間外勤務の管理や、熱中症対策としてグッズの購入を行った。
- ・人間ドックは互助会組織が助成を行っており、自己負担なく受診できる。MRIは実費。
- ・スポーツ大会は人手不足で中止しており、懇親会を開催した。
- ・組合員向けには人間ドックの助成(2万円)を行っている。
- ・以前会社などで勤めていた組合員は健診の習慣があるが、ずっと農業をされている方は健診を受ける習慣があまりないと感じる。

⑩北栄町商工会女性部

- ・年2回研修会を実施。今年度は、講話と合わせて、インボディ測定を実施し個別の助言をいただく。

⑪食生活改善推進員

- ・減塩や野菜摂取についての啓発を健診会場で行う予定。
- ・食育活動として、子ども料理教室を年4回開催。
- ・野外活動として、サントリー天然水奥大山ブナの森工場の見学を計画。

⑫住民代表

- ・WEB予約が導入され、いつでも予約ができ受けやすくなった。
- ・特定健診で、心電図や眼底検査が全員受けられるようになるというと思う。
- 町の健診の内容は、鳥取県健康対策協議会の「鳥取県特定健康診査・特定保健指導事業の手引き」に基づいて実施している。対象を変更する場合、町独自の取り組みという事になる。
- ・健康ポイントラリーは、受診やウォーキングなどの意欲につながっている。

(4)「暮らしと健康に関するアンケート」について

- ・前回までは健診の意向調べと同時実施していたが、現在意向調べを行っていないため、対象を抽出した1,000人に変更。これまでは、自治会ごとの結果を分析していた。対象人数が減少するが、自分ごととして結果をみてもらえるように地区ごとの分析を行う予定。
- ・アンケートは紙とWEBで回収。
- ・今回、中間評価の時期なので、アンケート内容の変更はしない予定。
- ・性別の表記を検討中。ご意見あれば伺いたい。

(5)その他

仲歯科医師より

- ・むし歯罹患率、中学生平均28.4%に対し、北栄町43.1%と非常に高い。
- ・小学生は、むし歯なしが大栄62%に対し、北条47%。未治療者が、大栄11.4%、北条36.5%と地域差がある。

- ・健診の受診率は一見低いように見えるが、妊婦もふしめも、実は中部は受診率は良い方。高齢者の歯科健診も北栄町は頑張っており、受診率があがっている。
- ・メディアは、小学生は 21 時には寝る方がよいが、例えば、寝る 30 分前はメディアオフなどの取り組みをしている学校もある。学校保健委員会で呼びかけを継続してほしい。
- ・各自治会などの地域で、運動や社会参加の機会が設けてあり良い。
- ・食事を食べれる口をつくる事が、全身の健康維持につながる。
- ・高校生以降、健診がなくなるため健診の習慣が途切れる。鳥大や環境大学では、希望者に健診を実施しているが、20 歳の受診率はどうか。切れ目なく、一生涯健診を受けれるようにする取り組みも必要。また、健診結果の情報を管理する事で、予防につなげる事ができる。
- ・健康 100 年時代、町民がいきいきと、健康に過ごせるようになると良い。

6. その他 次回日程 11月頃を予定